

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第7期第1四半期(自2020年1月1日至2020年3月31日)

【会社名】 K & Oエナジーグループ株式会社

【英訳名】 K&O Energy Group Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 緑川 昭夫

【本店の所在の場所】 千葉県茂原市茂原661番地

【電話番号】 0475(27)1011(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部マネージャー 新井 賢太郎

【最寄りの連絡場所】 千葉県茂原市茂原661番地

【電話番号】 0475(27)1011(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部マネージャー 新井 賢太郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第6期 第1四半期 連結累計期間	第7期 第1四半期 連結累計期間	第6期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (百万円)	19,959	18,557	65,133
経常利益 (百万円)	2,071	1,850	3,635
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,366	1,222	2,737
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,486	541	3,068
純資産額 (百万円)	77,298	77,661	78,520
総資産額 (百万円)	92,799	92,662	94,386
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	50.41	45.73	100.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	50.09	45.45	100.29
自己資本比率 (%)	79.8	80.3	79.6

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 「売上高」には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生として、新型コロナウイルス感染症の拡大及び新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく2020年4月7日付「緊急事態宣言」発令などに伴い、業務用のお客さまの事業活動停止などにより、ガス販売量が減少する可能性があります。このほかに、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、本項における将来に関する事項につきましては、本四半期報告書提出日現在において、当社グループが判断したものであります。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の売上高については、ガス事業の売上高が減少したことなどにより、7.0%減少の18,557百万円となりました。営業利益については、ガス事業での利益減少に加えて、建設事業の利益も減少したため、11.2%減少の1,794百万円、経常利益については10.6%減少の1,850百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については10.5%減少の1,222百万円となりました。

なお、増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### < ガス事業 >

発電用途等でのガス販売量が増加したものの、輸入エネルギー価格の影響による一部ガス販売価格の低下などにより、売上高については10.4%減少の15,686百万円、営業利益については6.7%減少の1,854百万円となりました。

#### < ヨウ素事業 >

好調な市況を背景に、ヨウ素販売価格が上昇したことや、ヨウ素販売量が増加したことなどにより、売上高については33.8%増加の1,356百万円、営業利益については42.9%増加の595百万円となりました。

#### < その他 >

建設事業の売上高が減少したものの、器具販売事業の売上高が増加したことなどにより、売上高については5.1%増加の1,514百万円となりましたが、建設事業の利益の減少などにより、営業利益については83.6%減少の51百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

なお、増減の比較については、全て「前連結会計年度末」との比較であります。

### < 資産の部 >

流動資産は0.2%減少の35,047百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の減少などにより、2.8%減少の57,614百万円となりました。以上の結果、資産合計は1.8%減少の92,662百万円となりました。

### < 負債の部 >

流動負債は支払手形及び買掛金の減少などにより、7.5%減少の8,502百万円となりました。また、固定負債は繰延税金負債の減少などにより、2.6%減少の6,498百万円となりました。以上の結果、負債合計は5.5%減少の15,000百万円となりました。

### < 純資産の部 >

純資産合計は自己株式の取得などにより、1.1%減少の77,661百万円となりました。

## (3) 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループの主な資金需要は、営業活動における運転資金及び投資活動における設備投資資金であります。運転資金は自己資金により、設備投資資金は自己資金のほか金融機関からの借入により調達しております。また、当社グループはグループファイナンスを導入しており、グループファイナンスを通じてグループ各社との間で必要な資金の融通を行っております。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は44百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	30,336,061	30,336,061	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株であります。
計	30,336,061	30,336,061	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年3月31日	-	30,336,061	-	8,000	-	2,000

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,206,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,067,700	270,677	-
単元未満株式	普通株式 61,661	-	-
発行済株式総数	30,336,061	-	-
総株主の議決権	-	270,677	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式が、それぞれ2,400株(議決権24個)及び68株含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式52株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) K & Oエナジーグループ(株)	千葉県茂原市茂原661 番地	3,206,700	-	3,206,700	10.57
計	-	3,206,700	-	3,206,700	10.57

(注) 2020年2月10日開催の取締役会決議に基づき、2020年2月12日に600,000株の自己株式を取得しました。その他、新株予約権の行使により減少、単元未満株式の買取により増加した株式数を含めた当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は、3,789,402株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,087	10,154
受取手形及び売掛金	6,781	6,639
有価証券	1,501	15,551
たな卸資産	1,809	1,877
その他	942	839
貸倒引当金	14	15
流動資産合計	35,107	35,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,567	11,349
機械装置及び運搬具(純額)	17,895	17,524
その他(純額)	9,498	9,504
有形固定資産合計	38,961	38,378
無形固定資産		
1,876		1,843
投資その他の資産		
投資有価証券	13,076	11,997
その他	5,414	5,445
貸倒引当金	50	50
投資その他の資産合計	18,440	17,391
固定資産合計	59,278	57,614
資産合計	94,386	92,662
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,372	3,810
引当金	54	93
その他	4,768	4,599
流動負債合計	9,195	8,502
固定負債		
長期借入金	685	946
退職給付に係る負債	5,050	4,910
引当金	209	210
その他	724	431
固定負債合計	6,670	6,498
負債合計	15,865	15,000



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	14,311	14,320
利益剰余金	54,318	55,161
自己株式	1,673	2,682
株主資本合計	74,956	74,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	84
退職給付に係る調整累計額	356	339
その他の包括利益累計額合計	215	424
新株予約権	212	191
非支配株主持分	3,135	3,094
純資産合計	78,520	77,661
負債純資産合計	94,386	92,662

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	19,959	18,557
売上原価	15,693	14,469
売上総利益	4,265	4,088
販売費及び一般管理費	2,245	2,294
営業利益	2,020	1,794
営業外収益		
受取賃貸料	31	31
その他	32	45
営業外収益合計	64	77
営業外費用		
賃貸費用	6	6
寄付金	3	4
その他	3	9
営業外費用合計	13	20
経常利益	2,071	1,850
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16
特別利益合計	-	16
特別損失		
減損損失	-	5
災害による損失	-	7
固定資産除却損	23	13
その他	11	-
特別損失合計	34	25
税金等調整前四半期純利益	2,036	1,841
法人税等	630	577
四半期純利益	1,406	1,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,366	1,222

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	1,406	1,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	738
退職給付に係る調整額	16	16
その他の包括利益合計	80	721
四半期包括利益	1,486	541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,438	582
非支配株主に係る四半期包括利益	47	40

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

ガス事業が売上高の大半を占めているため、事業の性質上、業績に著しい季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	1,132百万円	1,224百万円
のれんの償却額	14百万円	14百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	379	14円00銭	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	379	14円00銭	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,505	1,013	18,518	1,440	19,959	-	19,959
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	47	48	28	76	76	-
計	17,506	1,060	18,567	1,468	20,035	76	19,959
セグメント利益	1,988	416	2,404	313	2,718	698	2,020

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 698百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 740百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	15,686	1,356	17,043	1,514	18,557	-	18,557
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	47	48	52	101	101	-
計	15,687	1,403	17,091	1,567	18,658	101	18,557
セグメント利益	1,854	595	2,449	51	2,501	707	1,794

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 707百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 764百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、建設事業用資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5百万円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	50円41銭	45円73銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,366	1,222
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,366	1,222
普通株式の期中平均株式数(株)	27,113,809	26,742,500
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	50円09銭	45円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株) (うち、新株予約権(株))	174,463 (174,463)	163,707 (163,707)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月13日

K & Oエナジーグループ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 福田 厚 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小出 健治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているK & Oエナジーグループ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、K & Oエナジーグループ株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。